

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和4年4月25日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
						sp.	ミキモトイ	アカシオ	ポリクリコイデス
1. 森崎	10:21	0	18.2	33.84	7.7	0	0	0	8
		2	18.1	34.14	7.6	0	0	0	0
		5	18.0	34.34	8.1	0	0	0	0
		10	17.8	34.38	8.1	0	0	0	0
		13.1	17.5	34.40	7.7	0	0	0	0
2. 越田尾	10:16	0	18.4	33.84	8.2	0	0	0	0
		5	17.9	34.28	8.1	0	0	0	8
3. 猪串	9:35	0		欠 測		0	0	0	0
		5				0	0	0	2
4. 鵜の糞	9:35	0	18.4	34.15	8.1	0	0	0	0
		3	18.2	34.26	8.2	0	0	0	0
5. 小蒲江	10:07	0	18.1	33.92	8.1	0	0	0	0
		3	18.0	34.19	8.0	0	0	0	0
6. 屋形島	10:02	0	17.9	33.63	7.9	0	0	0	0
		3	17.9	34.20	7.8	0	0	0	0
7. 赤バエ	9:56	0	18.2	33.92	7.8	0	0	0	0
		3	17.9	34.12	7.9	0	0	0	0
8. 蒲江赤灯台	***	0	***	***	***	0	0	0	43
		3	***	***	***	0	0	0	193
9. 丸市尾	***	0	***	***	***	0	0	0	0
		3	***	***	***	0	0	0	3
10. みごの浦	9:41	0	18.3	33.98	8.0	0	0	0	0
		5	17.9	34.25	7.9	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのコクロディニウム・ポリクリコイデスが蒲江湾で増殖し、注意密度を超えています。

魚介類の管理にくれぐれもご注意ください。

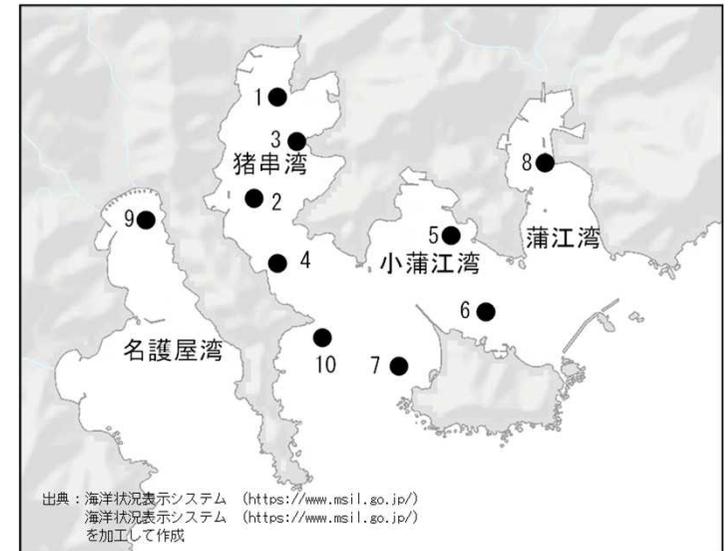


図 赤潮調査点